

中学・高校生～

2022 年 12 月 no.84

よんでネット*

2022

冬号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

アートって何だろう はじめてアートに出会う本

中島 裕司 訳



保育社【70本】

どうくさへきが 洞窟壁画、ルネッサンスから現代のグラフィティまで、時空を超えたカラフルなアートの旅に出かけよう！パラパラめくって、ビビッときたら、どこからだってかまわない。見る、読む、感じる、考える。どのページからでも、ワクワクするような質問がとんでくる。

てつほうの鳴る浜

作 / 森川成美

鎌倉幕府の時代。武士の家に生まれた少年。
長種は、武士が嫌で商人になりたいと家出した。
商人の町に行くため、こっそり船に乗った長種は、
水軍の大將につかまってしまふ。連れられていった
のは、大商人の家だった。水軍の大將は言った。
「人それぞれに決まった運というものがある。運を
変えようと思うな」「運を楽しむのだ」と。

そして、長種の新たな運命は動き出す。



小学館【913E】

クリスマスの小屋 アイルランドの妖精のおはなし

再話 ルース・ソーヤー 訳上 條由美子 画 岸野衣里子

流れ者の娘オーナは、逆境の中、家々を
療り仕事をして、いつか自分の小屋を持つ夢
を持ち続けた。やがて冬は、さいごの家から
追われた日は、クリスマス・イブ。オーナが妖精
の丘であるという沼地へいくと、妖精たちから
不思議なすばらしい小屋を贈られる。

ーアイルランドのクリスマスの奇跡のおはなし。



福音館書店【9937】

チャーシューの月

作 村中孝衣
画 佐藤真紀子

6歳の^{あさ}明希が、父親に連れられて
「あけぼの園」に来たのは、2月の月夜
の晩。心細そうな明希の世話を、
先生はもうすぐ中学生になる^{みか}美香に
頼んだ。美香は、言葉は乱暴だが、
本当は優しい。明希の生活に心を
配った。「児童養護施設」で共同
生活を送る子どもたちの親への思い
や園への不満など、美香の目を通して
語られる。



小学館書店【9136】

タスキメシ

著 額賀 滯

長距離ランナーとして、将来を期待
されていた高3の^ま真家^{いさ}早馬は、大怪我
をしてリハビリ中。そんな時、料理研究
部の都と出会い、料理に夢中になる。
同じ陸上部の後輩の弟、春馬や仲間
たちは、早馬の復帰を願うが、早馬は
引退を決意し、^{へんしん}偏食の多い弟の食事を
をサポートすることに。それぞれの思い
が交錯する中で、駅伝大会のゴールの先に
待つものは...

(※続編に『タスキメシ 箱根』もあります)



小学館【913.67】

